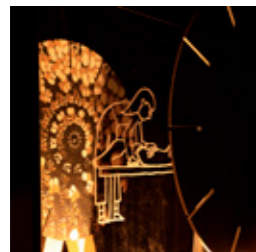


### 17 土本亜祐美

つちもと・あゆみ|アニメーションを軸に、アーティスト活動を行う。近年では古典アニメーション技法を使い創作する。「RAM PRACTICE 2021 EXHIBITION」(東京芸術大学横浜校校舎・元町中華街校舎、横浜、2021)、「黄金町バザール2019 ニューメナジェリー」(日ノ出スタジオ、横浜、2019)。

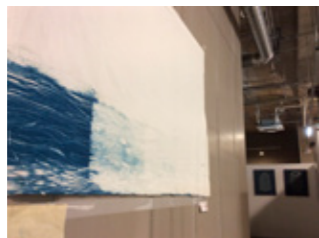
これまで"宿る何か"を、物体やキャラクターに見てきたが、アニメーション装置そのものに焦点を当ててみる。円盤で魂は現れるか。今回は特にサイズの大きいものや机上のスケールを超えるものを試したい。



### 18 リン・チャーチル

りん・チャーチル|1944年バーミンガム(アラバマ州)で生まれる。ウエルズリー大学(マサチューセッツ)で美術と物理学を、テュレーン大学(ニューオリンズ)で美術、実験演劇を学ぶ。70年代、レイク・エリー大学(オハイオ)で非常勤講師。2002年より日本在住。紙と土を素材とする作品制作を行う。また、テコンドーとのコラボレーションでパフォーマンス作品を制作する。

アートは共同作業であり、コミュニケーションだと思ふ。しかしつねに孤独な冒険だとも思っている。今回は、これまでの自分のスタジオでの仕事を淡々と、またパフォーマンスを行っていく。具体的には、サイトアクティビティなスードリング、落書き、乞食のボウルの作成、シードフォーム、ジェスチャーなどを行う予定。



### 19 おどるなつこ

おどる・なつこ|バレエ・大道芸を経てタップに出会い、音楽的・演劇的なタップ表現を深める。「弦の音と足の音で楽しむコンサート」出演/杉並区パリンピック応援(杉並公会堂、東京、2019)、「MY TOWN 可見」振付(可見市文化創造センター、岐阜、2017)。アートと福祉で人をつなぎ世界平和の実現にむかうNPO法人あしおとでつながろうプロジェクト代表。

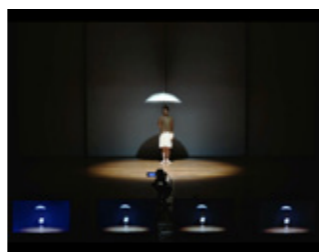
新潟材木店のご協力を得たライブ準備と並行し、映像ユニット「回踏太陽」演出の塩田久人とともに、無垢一枚板でのタップダンス表現を構築中。知的障害があるといわれる仲間とのNPO事業を軌道にのせる広報活動もしている。



### 20 中屋敷南

なかやしき・みなみ|振付家/ダンサー。繊細で表情豊かな動き、振付、人間の感情、感覚、内包された欲望の表出を目指す。横浜国立大学大学院Y-GSC修了。専門学校で身体表現(保健体育)非常勤講師。横浜ダンスコレクションEX2015最優秀新人賞受賞。

舞台作品「みえないけどいる-touch the ghost skin-」を、限定した時間内での公演形式ではなく、インスタレーション形式に落とし込むことを目標としながら、引続きアイデアの試行錯誤と作品化を目指す。



### 21 新江千代

あらえ・ちよ|1983年生まれ、東京在住。ロンドン芸術大学ロンドン・カレッジ・オブ・ファッション学士課程修了。人の記憶と不在者との関係性を探り、インスタレーションや映像作品を制作発表。都筑アートプロジェクト(みどりアートパーク、横浜、2020)、都筑アートプロジェクト(art space 赤い家、横浜、2019)。トロールの森(善福寺公園、東京、2018)。個展「水たまりが乾いたあとで」(土日画廊、東京、2017)。

前回のBankART AIR SPRINGより制作しているインスタレーション作品(伐採予定の桜と親族を巡る物語)の各要素の繋がりを再考するとともに、制作した衣服の立体作品を使い、新たな作品展開を実験する。作品では「手放す」という行為を通して、現在を生きるわたしたちの生を見つめ直したい。



Photo by Daisuke Taniguchi



#### アクセス

BankART Station  
横浜市西区みなとみらい5-1  
みなとみらい線「新高島駅」地下1階

#### お問い合わせ | BankART1929

TEL 045-663-2812  
info@bankart1929.com  
www.bankart1929.com

## BankART AIR 2021 SUMMER アーティストトーク

全5回、毎週金曜日19:30~21:00 会場:BankART Station

\*ご参加はワンドリンクのオーダーをお願い致します。

BankART Stationでは現在21組のクリエイターが、6月14日から2ヶ月間、制作活動を行っていますが、その関連プログラムとして、週末に恒例のアーティストトークを行いたいと思います。皆さまお誘い合わせの上、ご参加下さい。

#### [スケジュール]

第1回 6/25(金) 片岡純也/秋山直子/橋村至星/おどるなつこ

第2回 7/2(金) 辻梨絵子/宮崎優花/新江千代/高久柊馬

第3回 7/9(金) 松本恭吾/青木崇/山岡瑞子/土本亜祐美/  
アイヴァン・ティンブレ

第4回 7/16(金) 川口真人/\_hpy/リン・チャーチル/中屋敷南

第5回 7/23(金) ビココンドウ/関和明/細淵太麻紀/窪田久美子

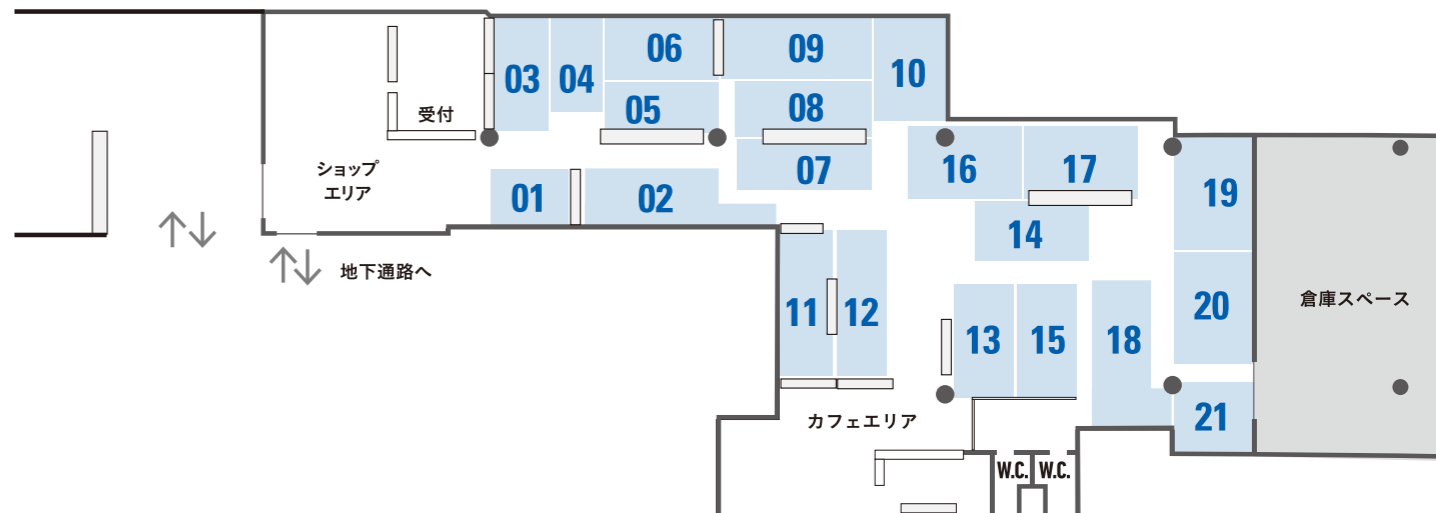
## BankART AIR 2021 SUMMER

# OPEN STUDIO

2021.8.8 sun. - 8.9 mon. 8.13 fri. - 8.15 sun. 11:00-19:00

BankART Station 入場無料

横浜市西区みなとみらい5-1新高島駅地下1階



主催:BankART1929 共催:横浜市文化観光局

## 1 川口真人(レイオンヴェール)

かわぐち・まこと|パフォーミングアーツの  
プロダクションマネジメントを行う。近年の活動は、浦沢直樹原作・Bunkamura  
製作「PLUTO」ロンドン、レーワルデン、ア  
ントワープツアー(2018)、「ロシアにおける  
日本年オープニングセレモニー」(モスク  
ワ・ポリショイ劇場,モスクワ,2018)、  
NHK横浜放送局製作「偶然の出会いの  
ように」(神奈川芸術劇場,横浜,2019)、  
横浜トリエンナーレ2020プレイベント  
「Episodo 00」(PLOT48,横浜,2019)など。

8月の神奈川県の文化事業「Our  
Glorious Future」、KAAT キッズ・ブ  
ログラム「クノチテクテク マナツ  
ノボウケン」などの制作業務を  
BankART Stationでオープンな形  
で行い、文化事業を創り上げるプ  
ロセスを可視化したい。



## 2 片岡純也

かたおか・じゅんや|身の回りの物から  
得たなにげない発見をきっかけに、物  
理的な動きを見せる作品を制作してい  
る。2013年よりアートユニット「片岡純  
也+岩竹理恵」として、各国のアーティ  
スト・イン・レジデンスや展覧会に参加。  
近年の展覧会、「MOTアニュアル2020  
透明な力たち」(東京都現代美術館,東  
京,2020)。

オープンスタジオという発表の仕方  
が好きだ。まだ作品と呼べないよう  
なプロトタイプ的なものを見てもら  
うことができるし、途中で引っ込め  
て手直しすることもできる。今回の  
BankART スタジオでは、漠然とあ  
る作品のアイデアを形にしていく。



## 3 高久柊馬

たかく・しゅうま|1999年横浜市生まれ。  
2020年から様々な作家さんを通し制作  
を学ぶ。今までの思い出や日常のアイ  
デアを通じて制作し、自身の理解を深め、  
それを発表する。芸術祭の制作スタッフ  
経験後、レジデンスに興味を持ち、今回  
のAIRに参加。2022年横浜市民ギャラ  
リーにて個展を開催予定。

横浜の景色の中でずっと居たくなる  
景色がある。その横浜らしい景色  
の要素を別の形で再現し、どこか  
横浜を感じる作品にしようと思っ  
ている。今回のレジデンスを観てくだ  
さった方々が、どこか懐かしさや愛  
着を持ってもらえる景色を作りたい  
と思っている。



## 4 \_hpy

はいぷ|1986年札幌生まれ、横浜在住。  
エンジニアとアーティストの間くらい  
の立ち位置で、主に音・プログラミング・  
リアルタイム3DCGをつかったクライ  
アントワークやアート活動を行っている。  
web site: www.lhpyl.art

普段なかなか触れることのない技術  
に触れられる作品を考えていて、体  
験者の脳波を作品に反映させるも  
のを制作予定です。NextMindとい  
う、脳の視覚野の電気信号を読み  
取って入力コマンドへと変換するデ  
バイスがあり、こちらを使おうと思う。



## 9 松本恭吾

まつもと・きょうご|倉敷芸術科学大学  
大学院修了。日本、ドイツ、アメリカ、  
オランダ、チェコ、フィンランド、セル  
ビアなどのアーティスト・イン・レジ  
デンスと多くの制作を行い、作品を  
発表している。現在倉敷芸術科学大  
学、岡山理科大学非常勤講師。

私の制作の中心的考えは都市空間  
の中にある見えないものを、楽しい  
形で可視化することにある。今回の  
レジデンスでは横浜郊外の風景を  
テーマに絵本を制作している。1ヶ  
月以上を使ったフィールドワークで  
得たアイデアを元にちょっと不思議  
な話にするつもり。



## 10 細瀬太麻紀

ほそぶち・たまき|多摩美術大学にてグ  
ラフィックデザインと写真を学んだ後、1996  
年より美術・建築ユニット「PHスタジオ」  
に参加。2004年、BankART1929の設立  
に関わり以降企画運営全般に携わる。  
2017年より「現像」共同主宰。主な展  
覧会に「photopia/scotopia-東京」(TOKAS  
本郷,東京,2018)等。

写真やカメラを「見る」ことのメ  
タファーと捉え、その既視感と違和感  
の間を往来する。秋に開催予定の  
愛媛県宇和島の鉄道扇型車庫での  
個展の準備など。主に感光乳剤と  
和紙を使ったプリントの実験などを  
おこなう。



## 11 秋山直子

あきやま・なおこ|京都生まれ。14~19  
歳をオランダで過ごす。編集者、デザ  
イナーを経て2009年より写真家・元田  
敬三氏に師事。2011~20年黄金町AIR  
参加。「横浜トリエンナーレ2020」  
ではエレナ・ノックスの展示に作品を  
提供。珈琲焙煎所&カフェ「chair  
COFFEE ROASTERS」のスタッフでも  
ある。

視覚(写真)と味覚(コーヒー)の関  
係を探っている。味覚の微妙な差  
異は、視覚と併せて味わうことで、  
より鮮明な記憶となる。オープ  
ンスタジオでは、言葉の代わりに写  
真でオーダーするカフェ「メニュー  
のない珈琲店」にて、ぜひ実際に体  
感していただきたい。(協力:Chair  
COFFEE ROASTERS)



## 12 青木崇

あおき・たかし|横浜市生まれ。グ  
ラフィティアートから影響を受け、  
独学で線画を描き始めた。美術、音  
楽、写真、スケートボード等、日  
常の様々なものからインスピ  
レーションを受けつつ、新しい自  
分の線を探して描き続けている。

自分のルーツとも言えるみなとみ  
らいエリアで制作が出来るので自  
分の今描ける線を最大限描き切  
ろうと思っている。制作の現場  
では音楽や写真も含めて、作品  
との関係性を感じてもらえるよ  
うにしたいと考えている。



# BankART AIR 2021 SUMMER OPEN STUDIO

会期:2021年8月8日[日]~9日[月] 13日[金]~15日[日]

時間:11:00~19:00

会場:BankART Station

入場料:無料

BankART Station では、現在21組のアーティスト達が、6月14日から約2ヶ月間、制作

活動をおこなっています。基本的には、制作場所(スタジオ)の公開ですが、6月~7月に

制作した成果物も発表します。是非皆様、お気軽にご参加ください。

## 5 山岡瑞子

やまおか・みずこ|東京都生まれ。2002  
年 Pratt Institute BFA Painting (ニュー  
ヨーク)卒業。交通事故に遭い帰国。  
2008-9年デンマークのEgmont  
Højskolenへ留学し映像製作に  
出会う。帰国後、映像美学校ド  
キュメンタリー科修了。BankART  
AIR 2021 SPRING (BankART  
Station,横浜,2021)。

留学していた美大卒業後、交通事  
故で帰国し、それまでの世界から断  
絶状態に。紆余曲折を経て、  
BankART AIR 2021 SPRINGに  
参加したことで、事故以前にいた場所  
に戻れたと思えた。現在制作中の  
映像やペインティングなどを開拓・  
完成させたい。



## 6 橋村至星

はしむら・しせい|The School of Visual  
Arts卒業、New York University  
大学院修士課程修了。90年代に9年  
間NYで過ごし帰国。身近な日常  
風景に生きる人とそこに潜む違和  
感等をテーマに絵画作品を制作。  
個展「奥娘」(Gallery Lara Tokyo,  
東京,2017)、「Summertime Blues」  
(Launch Pad Gallery,横浜,2015)、  
「innerlandscape (remix)」(Galley  
Side 2,東京,1999)。グループ展  
国内外多数。

「リモートワーク」をテーマにした  
絵画作品を描いています。7/11~18  
に、横浜市栄区文化センターリス  
での「リスオープンスタジオ ART  
& MUSIC」オープンスタジオ・個  
展出品予定。同イベント内で親子  
向けのクロッキーワークショップを  
開催。7/10~11にみなとみらい  
BUKATSUDOで「iPhoneケース展  
つながる~つなげる」参加予定。



## 7 関和明

せき・かずあき|1948年京都市生まれ。  
建築史家/建築家。早稲田大学  
大学院理工学研究科博士課程単位  
取得退学。1976年~2019年関  
東学院大学建築学科にて教育・研  
究に従事。BankART AIR 2021  
WINTER・SPRING, 2019  
AGAIN・2019に参加(BankART  
Station,横浜,2019・20・21)。  
「Luminous Web:Future  
Scape Project」(Zou-no-Hana  
Park,横浜,2020)、「Welcoming  
Birds to Zou-no-Hana Park! :  
FSP」(Zou-no-Hana Park,  
横浜,2019)、自著に『建築史眼』  
(2019)など。

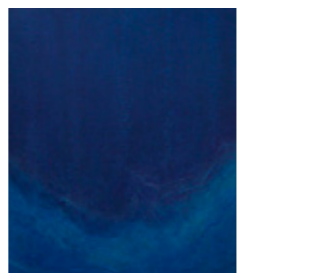
(仮称)「きたのもりのまなびや:  
Campus Bau-Hut」@北海道H町  
プロジェクトを継続し展開する。  
主に、全体プラン(将来計画)と  
ランドスケープ・デザイン、およ  
び活動プログラムのデザイン。  
「Book Barn(ライブラリー/  
ギャラリー/スタジオハウス)」の  
設計。また、2018年から進めて  
きた構想をまとめた小冊子を編集  
し作成する。AIR期間中には、  
現地視察、調査も予定。



## 8 ピココンドウ

びこ・こんどう|横浜生まれ。ジュ  
エリー作りをきっかけに独学で  
作品制作を始め、近年では独自の  
技法を用いた青い作品を中心に  
制作。2020年より活動拠点を  
ニューヨークから横浜へ移し、  
新しい環境で再スタート。2004  
年から、横浜やニューヨークで  
個展を開催。

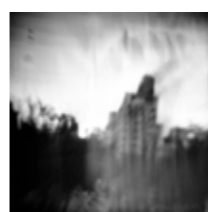
引続き近年の創作活動の中心と  
なっているVoyagingシリーズ、  
青い平面作品の制作に加え、秋  
に予定している野外展示のため  
の立体作品に関するリサーチや  
テストなどを行いながら、完成  
に向けて制作をする予定。時間  
をかけて作品、観る人が自心  
の中に何か新しい発見ができる  
ようなメッセージ性の高い作  
品を発信していきたいと思っ  
ている。



## 13 アイヴァン・ティンブレ

あいゐん・ていんぷる|1986年ア  
オテアロア生まれ。2009年ワイ  
カト大学卒業(BA)。2014年  
より鳥取県の森、川、海でのび  
のびと遊び、2018鳥取大学  
大学院地域教育修了。2020  
年に横浜へ移動し写真家として  
本気で動き始めた。SIPレ  
ジデンス(Hospitale project,  
鳥取,2019)、銀河鉄道祭(と  
りぎん文化会館,鳥取,2019)、  
鳥取夏至祭/木野彩子主催(わ  
らべ館とその他,鳥取,2019・  
20・21)参加。とりアート西  
部の奨学金でDr Sketchy根  
雨(たたら)の里奥日野,鳥取,  
2017)、Dr Sketchy鳥取(シ  
ェビトゥパー,鳥取,2016)を  
主催。

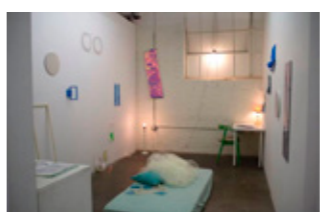
コロナパンデミック中で横浜  
に到着し、部屋をカメラオブ  
スクラに変えて、屋内で座りな  
がら、外の様子が部屋の壁に  
映し出される映像を見た。そ  
の頃たまたまピンホールカメ  
ラの手ほどきを受けて、人間  
がピンホールカメラの中に収  
まることに興味を持った。そ  
もそもカメラや写真とは何か。  
更になんのために皆が撮って  
いるのかと言う問いに、考え  
ながら制作したい。



## 14 辻梨絵子

つじ・りえこ|2019年東京藝術大  
学院美術研究科グローバルア  
ートブラクティクス専攻修了。  
これまでYale Union(アメリ  
カ,2019)、Arteles Creative  
Center(フィンランド,2016)  
などにてレジデンスプログラ  
ムに参加。

いしだあゆみのヒット曲「ブルー  
イトヨコハマ」にインスピ  
レーションを得て、青い光を  
使ったインスタレーション  
やドローイングを制作予定。



## 15 宮崎優花

みやざき・ゆか|1990年群馬県  
生まれ。2015年武蔵野美術大  
学美術専攻大学院修士課程  
修了。群馬と茨城を主な拠  
点として制作活動を継続して  
いる。企画展「【茶室】プロ  
ジェクト」(臨江閣,群馬,2019・  
21)、グループ展「Japanische  
Positionen」(raum2810,  
ドイツ・ボン,2019)、「行方  
不明」の"日本人Vol00」  
(CONCEPTSPACE/R2,  
群馬,2019)、個展「traces」  
(AIS Gallery,群馬,2018)、  
国内アートフェア「3331  
ART FAIR」(3331 Arts  
Chiyoda,東京,2018・19)。

継続して行ってきた、「物質の  
流転」や「作為と作用」を  
主題とした平面作品の更なる  
研究。素材としてきた灰と  
ピグメントの「色彩」「作  
用(水・乾燥)」「粒子の結  
合性」について。イン  
スタレーション作品の制作  
に取り組み新たな表現方法  
の確立を目指す。



## 16 窪田久美子

くぼた・くみこ|B-semi  
schooling system修了。個  
展「plastic island / second  
hand frontier」with an  
introduction by Moemi  
Takano(トキワビル303-a  
スタジオ,横浜,2019)、「  
comfortable」(numART,  
藤沢,2017)、「butterfly」  
(Launch Pad Gallery,  
横浜,2016)、「HOLD」  
(新宿眼科画廊,東京,  
2010)。グループ展、「  
BankART Life III」(新・  
港村,横浜,2011)、「  
ANTINOMIE」(Gallery  
Objective Correlative,  
東京,2003)、「灰塚ア  
ーツワークプロジェクト」  
(広島,1996)。

衣服を題材とした作品をその  
機能や社会的意味を考察し  
つつ彫刻として制作して  
きた。今回もその作業を  
継続してゆく。また、素  
材、手法にこだわらず、  
美術とはなにか、美術  
作品はいかに成立する  
かという問いにたち戻  
って造形の可能性を  
考え、形にしていきたい。

